

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大森屋

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriva.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲野 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	7,983	△5.1	154	10.5	165	12.6	88	12.7
24年9月期第2四半期	8,408	△3.9	139	△31.4	146	△30.4	78	△25.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	17.43	—
24年9月期第2四半期	15.46	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年9月期第2四半期	12,470		9,449		75.8	1,861.66
24年9月期	12,367		9,430		76.3	1,857.97

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 9,449百万円 24年9月期 9,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,810	△3.6	290	0.5	300	0.5	150	3.0	29.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期2Q	5,098,096 株	24年9月期	5,098,096 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	22,416 株	24年9月期	22,224 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	5,075,844 株	24年9月期2Q	5,077,156 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項については、添付資料3ページの「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、金融緩和の期待感から円高是正が進展し、輸出企業を中心に収益改善の兆しがみられ、株価が上昇するなど景気の先行きに明るさが見えてまいりました。一方で、急速な為替変動への新たな対応が求められるなど、先行きに対する不透明感は依然として払拭できない状況でもあります。

当社を取り巻く市場環境も、消費者の生活防衛意識の高まりから、節約志向、低価格志向が恒常化し、販売面においては大変厳しい環境でありました。一方で、前年度は不作により仕入価格が高騰した原料海苔は、本年度はほぼ平年並みの収穫量となり、仕入価格も安定いたしました。

このような状況のもと、当社では消費者のニーズに合った製品の強化に努めるとともに、販売促進費をはじめとする経費の削減、製造コストの低減に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,983百万円（前年同期比5.1%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は154百万円（前年同期比10.5%増）、経常利益は165百万円（前年同期比12.6%増）、四半期純利益は88百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

以下、品目別売上高の状況は次のとおりであります。

家庭用海苔につきましては、消費者ニーズに合った製品の強化を図るため、一部製品のリニューアルを実施するとともに、販売促進費の削減を推し進めた結果、売上高は2,906百万円（前年同期比7.9%減）となりました。進物品につきましては、ギフト市場の低迷が続いており、売上高は1,041百万円（前年同期比10.8%減）となりました。ふりかけ等につきましては、競合他社との販売競争激化により、売上高は1,744百万円（前年同期比4.2%減）となりました。業務用海苔につきましては、新規取引先の開拓もあり、売上高は2,274百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の分析

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて103百万円増加し、12,470百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて50百万円増加し、9,693百万円となりました。これは主に主要原材料である原料海苔の買付けにより原材料及び貯蔵品が1,387百万円増加したこと、現金及び預金が1,076百万円、受取手形及び売掛金が188百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて53百万円増加し、2,777百万円となりました。これは主に投資有価証券が51百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて70百万円増加し、2,352百万円となりました。これは主に原料海苔の買付け資金として短期借入金が増加したこと、その他流動負債が120百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて14百万円増加し、669百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて18百万円増加し、9,449百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べて1,076百万円減少し、1,021百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,078百万円(前年同四半期比1,094百万円減)となりました。これは主に税引前四半期純利益163百万円(前年同四半期比17百万円減)、減価償却費68百万円(前年同四半期比0百万円減)の収入があったものの、たな卸資産の増加額1,288百万円(前年同四半期比937百万円減)、法人税等の支払額68百万円(前年同四半期比28百万円減)の支出があったことによるものであります。

なお、当社の主要原材料である海苔は、おおよそ11月から翌年3月にかけて収穫され、この期間に翌1年分の原料海苔を仕入れるため、第2四半期会計期間末ではたな卸資産が増加いたします。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は101百万円(前年同四半期比75百万円減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出50百万円(前年同四半期比5百万円増)、関係会社出資金の払込による支出47百万円(前年同四半期比47百万円増)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は98百万円(前年同四半期比0百万円増)となりました。これは主に短期借入による収入200百万円および配当金の支払額100百万円(前年同四半期比0百万円減)によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績が、利益面では計画を上回って推移しておりますが、足下の経済状況が極めて不透明であり、今後の状況推移を見据える必要がありますことから、平成24年11月14日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,498,537	1,421,617
受取手形及び売掛金	2,868,014	2,679,056
製品	675,339	579,806
仕掛品	75,494	72,423
原材料及び貯蔵品	3,440,397	4,827,611
その他	85,360	113,049
流動資産合計	9,643,145	9,693,564
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,068,178	2,096,808
減価償却累計額	△1,641,954	△1,658,180
建物(純額)	426,223	438,627
土地	1,509,111	1,509,111
その他	2,038,826	2,044,595
減価償却累計額	△1,715,362	△1,752,848
その他(純額)	323,464	291,747
有形固定資産合計	2,258,800	2,239,487
無形固定資産		
投資その他の資産	35,808	23,952
投資有価証券	206,735	258,614
会員権	29,620	29,620
その他	203,684	235,985
貸倒引当金	△10,500	△10,500
投資その他の資産合計	429,539	513,719
固定資産合計	2,724,147	2,777,159
資産合計	12,367,293	12,470,724
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151,123	1,140,223
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	74,000	81,000
賞与引当金	93,116	87,798
その他	963,516	843,469
流動負債合計	2,281,757	2,352,491
固定負債		
退職給付引当金	311,022	319,192
役員退職慰労引当金	341,583	347,808
その他	2,106	2,060
固定負債合計	654,711	669,061
負債合計	2,936,468	3,021,552

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	7,575,594	7,562,535
自己株式	△21,749	△21,925
株主資本合計	9,412,057	9,398,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,766	50,349
評価・換算差額等合計	18,766	50,349
純資産合計	9,430,824	9,449,171
負債純資産合計	12,367,293	12,470,724

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	8,408,180	7,983,319
売上原価	5,210,188	5,098,295
売上総利益	3,197,991	2,885,023
販売費及び一般管理費	3,058,033	2,730,308
営業利益	139,958	154,714
営業外収益		
受取利息	201	169
受取配当金	2,248	2,417
為替差益	980	4,161
助成金収入	1,356	1,458
雑収入	1,813	2,171
営業外収益合計	6,599	10,377
営業外費用		
支払利息	25	80
営業外費用合計	25	80
経常利益	146,532	165,011
特別利益		
固定資産売却益	35,040	—
補助金収入	1,388	—
特別利益合計	36,428	—
特別損失		
固定資産除却損	344	1,208
固定資産圧縮損	1,291	—
特別損失合計	1,636	1,208
税引前四半期純利益	181,325	163,803
法人税、住民税及び事業税	80,259	75,576
法人税等調整額	22,568	△231
法人税等合計	102,827	75,345
四半期純利益	78,497	88,458



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	181,325	163,803
減価償却費	68,824	68,590
固定資産売却損益(△は益)	△35,040	—
固定資産除却損	344	1,208
固定資産圧縮損	1,291	—
補助金収入	△1,388	—
受取利息及び受取配当金	△2,449	△2,586
支払利息	25	80
為替差損益(△は益)	△1,044	△4,007
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,864	△5,318
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,225	6,225
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,044	8,170
売上債権の増減額(△は増加)	△6,811	188,957
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,226,411	△1,288,608
仕入債務の増減額(△は減少)	93,770	△11,651
その他の資産・負債の増減額	△151,415	△137,624
小計	△2,078,664	△1,012,760
利息及び配当金の受取額	2,479	2,652
利息の支払額	△36	△51
預り敷金及び保証金の受入による収入	46	46
預り敷金及び保証金の返還による支出	△46	△92
法人税等の支払額	△97,127	△68,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,173,349	△1,078,829
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△175,000	—
有形固定資産の取得による支出	△44,290	△50,174
有形固定資産の売却による収入	46,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△374
投資有価証券の取得による支出	△2,994	△3,064
国庫補助金による収入	1,388	—
関係会社出資金の払込による支出	—	△47,486
その他	△1,369	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,265	△101,036
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	200,000
自己株式の取得による支出	△377	△176
配当金の支払額	△101,608	△100,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,013	98,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,044	4,007
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,250,555	△1,076,919
現金及び現金同等物の期首残高	2,852,239	2,098,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	601,684	1,021,617

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
家庭用海苔	1,653,319	32.3	1,680,455	33.7	1.6
進物品	633,145	12.4	534,124	10.7	△15.6
ふりかけ等	1,025,267	20.0	935,401	18.7	△8.8
業務用海苔	1,790,601	35.0	1,832,167	36.7	2.3
その他	13,956	0.3	9,047	0.2	△35.2
合計	5,116,289	100.0	4,991,197	100.0	△2.4

(注) 上記金額は、製造原価によっております。また、上記金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ②受注実績

当社は見込生産方式をとっておりますので、該当する事項はありません。

###### ③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)		前年同期比 増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
家庭用海苔	3,155,745	37.5	2,906,780	36.4	△7.9
進物品	1,167,628	13.9	1,041,244	13.0	△10.8
ふりかけ等	1,820,405	21.7	1,744,560	21.9	△4.2
業務用海苔	2,245,299	26.7	2,274,797	28.5	1.3
その他	19,101	0.2	15,936	0.2	△16.6
合計	8,408,180	100.0	7,983,319	100.0	△5.1

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及びそれぞれの総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三菱商事㈱	2,740,820	32.6	2,518,700	31.5
伊藤忠商事㈱	2,088,363	24.8	2,044,658	25.6